

「外貨両替専門SHOP」事業について



～従来の外貨両替事業には無い、新たな取り組み～

Money Exchange

外貨両替専門店事業

はじめに

訪日観光客数が急増する中で外貨両替のニーズは高まっていますが、従来の銀行両替やホテルでは観光客のニーズを満たしているとは言い難い状況です。



しかしながら従来の金券ショップなどは外貨を両替手数料の高い銀行に持ち込むことで両替利益率が低くなり、黒字化しないため集中投資へのハードルになっていました。本両替事業は、従来の10分の1程度の両替額でも黒字運営が可能となる画期的なビジネスモデルです。



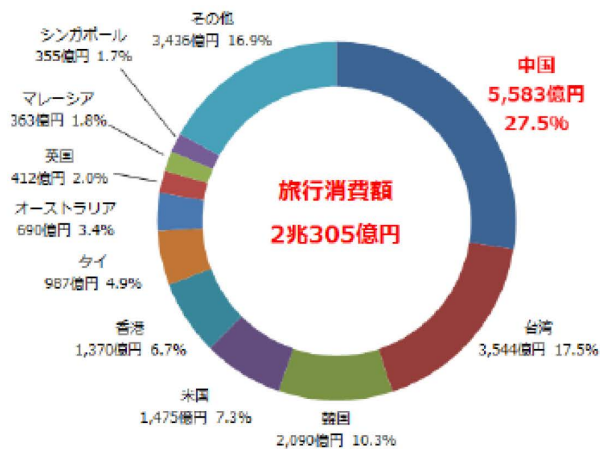
Inbound インバウンド

訪日外国人の動向

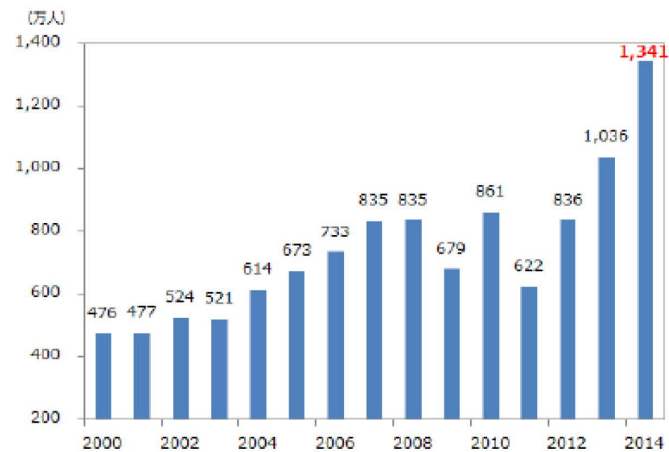
日本政府は将来的に年間2000万人の訪日外国人旅行者数獲得を目標に設定し、その実現のために「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2014」を打ち立てた。

外国人増加の勢いは今年に入ってから落ち着くどころか「加速」しており、1～6月までの累計値（推定値）で914万人、対前年同期比で288万人の増加、率にして46.0%というすさまじい伸びを示している。

日本国内の小売業をはじめとするインバウンド（内需宛）事業者は激増する外国人に対するインバウンド需要、すなわち集客対策が急務のものとなっている。



国別訪日外国人旅行消費額



訪日外国人旅行者の数

Inbound インバウンド

インバウンド施策の現状

訪日外国人不満度ランキング上位は決済項目

コミュニケーションや、Wifiなどの問題と同じ上位に両替やクレジット等の決済問題がある。

世界でも流動性の通貨を自国通貨としている先進国で、決済問題が上位にあるのは日本だけである。

それだけ日本の訪日外国人に対するインフラが整備されていないことが分かる。

コミュニケーションに関しては日本における外国人が使う全てのサービスにおいて不満の対象となっている。

訪日外国人不満度ランキング

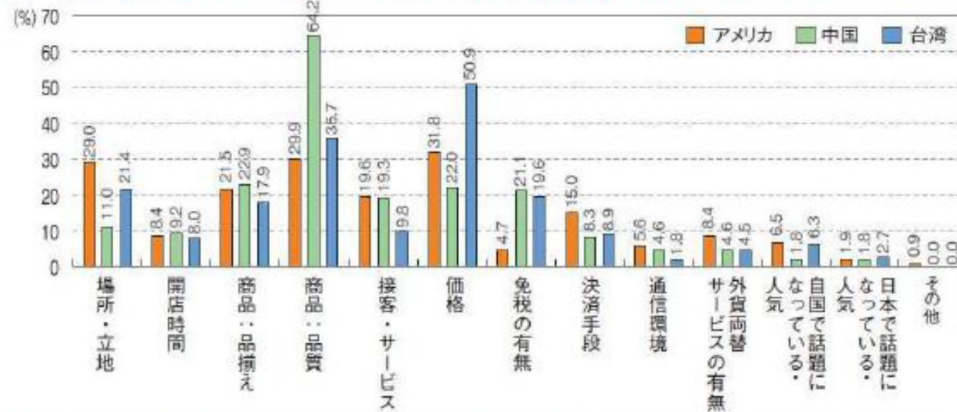
1位	無料公衆無線LAN環境
2位	コミュニケーション
3位	目的地までの公共交通の経路情報の入手
4位	両替・クレジットカード利用
5位	公共交通の利用方法（乗り方）、利用料金
6位	飲食店情報の入手
7位	地図、パンフレット（多言語）が少ない
8位	公共交通の乗り場情報の入手
9位	割引チケット・フリー切符の情報の入手
10位	飲食店の予約



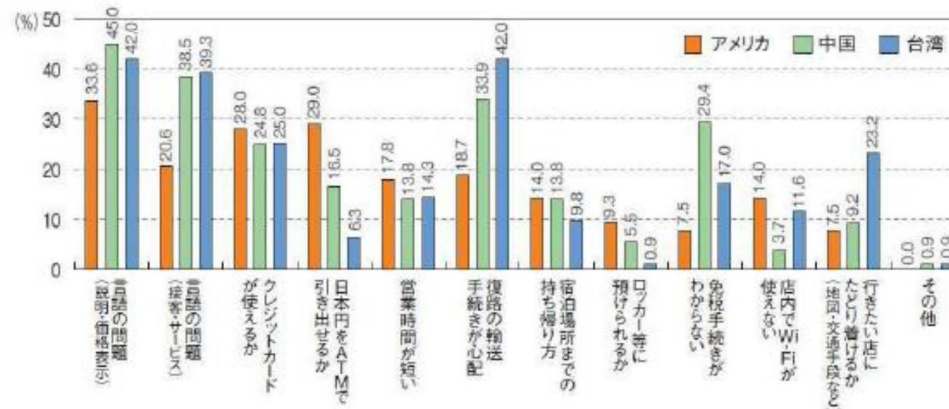
Inbound インバウンド

訪日外国人は決済やATMに不満を持っている

Q1 あなたが日本でショッピングする際、最も重視することは何ですか(複数回答)



Q2 あなたが日本でショッピングした際、不満・心配だったことはなんですか(複数回答)



ショッピング時の不満

お店までの道が分からない

輸送とその手続き

言語の問題

クレジットカードが使えない。

日本円をATMで引きだせない。

調査設計：ブルームーン・マーケティング、
 調査協力：USPジャパン（ジャパンショッピングツーリズム協会監修）
 データ提供：Cint Japan

Shopping/Settlement

ショッピングと決済

ショッピング時の主な決済例

カード決済

銀聯カード

【中国系】



銀聯カードは中国を中心に日本を含む全世界200万の加盟店で利用可能。
ショッピング専用クレジットカード。

問題点 Problem

【銀嶺カード】

銀聯カードを保有する中国在住者は、中国政府による人民元の現金持出制限（一人当たり5,000USドル相当額）により、国外での買物に制限がある。
銀聯借記カードの裏にCirrusやPLUSのマークが入っていないとCITIBANKとセブン銀行（Cirrusは除く）、ゆうちょ銀行のATMで現金が下ろせないキャッシングも出来ない。

その他

【欧米系】

セブン-イレブンの店内にあるATMで現金引き出し。
ATMは日本全国に21,000台以上。
外国人観光客に積極的にアピール



問題点 Problem

【欧州系ローカルバンク】

セブン銀行は使用できないところが多い。
メガバンクなど一般の銀行のATMではVISAやMaster Cardのマークが張って有っても、磁気テープ規格の違いで海外発行のカードは使えない。
日本国内での銀行の窓口でのカウンターキャッシングは廃止になっている。

JAPAN/ Exchange

日本国内両替所

日本の両替所の現状

銀行

大手メガバンク

そもそも外貨から円貨への交換レートは悪い。
(特にドル以外のアジア系の通貨、
人民元・韓国ウォン・台湾ドル・香港ドルなど)

銀行系メガバンクをはじめ横並びで、総じて手数料は悪い。
ドルから円の両替で1ドルに対して手数料3円

一度の両替は30万円まで (事業性のある両替は受け付けていない)



両替所

外資系インターナショナル (トラベレックス)

基本は外貨の両替は、在庫化するか銀行での再両替のため銀行より手数料が悪い。銀行の手数料を3%とすると大体5%~7%と高く、訪日した外国人もなるべく日本円現金に両替したがる。

一度の両替は30万円まで (事業性のある両替は受け付けていない)



Money Exchange

訪日外国人向け外貨両替所事業

外貨両替事業について

海外の両替専門業のノウハウ

金融業における外貨に関する、あらゆるノウハウが蓄積されている。

銀行、ホテルと比較して割安な手数料

銀行やホテルでの両替はサービスの一端である為、レートは市場価格であり高めと言える。
弊社両替専門店としては既存の両替商よりも大幅に安くし、全国展開を目指す。

豊富な通貨ペア

¥\$€などの流動性の極めて高い通貨から、アジア圏など流動性の低い通貨を含む全10通貨を取り扱っている。

*外貨両替専門店である原宿本店では17通貨を取扱っている

外国人観光客に絞った利便性の追求

今までの様な空港や駅だけでは無く、海外の様に街中の一定の距離の間に必ず定期的にお店があると云うカタチで出店。

都内では商店街や市街、地方では観光地をメインに出店していく。



1号店

SAKURA EXCHANGE 原宿本店
2015/0926 OPEN

原宿、竹下通り沿いマツモトキヨシのビル向かい、イタリアン「ドナ」のビル3階

Recommendation

アライアンス推奨業種

外貨両替事業と相性のいい業態

BtoBtoCの流れを作れる業種

日系ホテル（ビジネス・シティ）

ドラッグストア・化粧品店

旅行代理店・保険代理店

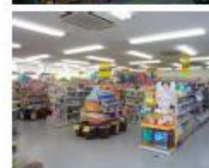
高額商品を扱う専門店

（ダイヤ、時計、貴金属）

飲食店

家電量販店

その他



Feature/Alliance

商業施設とのアライアンス

出店の具体例

3か国語対応可能な外国人スタッフが常駐

お客様の100%が外国人のため、外国語でのコミュニケーションは必須です

銀行と同様レベルの高度なセキュリティ

店内及び店外施設に限らず大手金融機関並みのセキュリティシステムを導入、万全な防犯・監視・偽造通貨対策を施行



顧客来店時含め常時録画対応、防弾ガラス、複数名体制で警備システム完備

店内商業施設の外貨両替ニーズを都度代行

欲しいものがあるのに、日本円やクレカが無くて困っている外国人観光客には、絶好の環境です。外国人専門の外貨両替所が併設する商業施設として、近隣商業施設との差別化にも貢献します。

商業施設のフロント業務として外国人向けにテナントをアピール

外国人観光客向けに商業施設のインフォメーション・フロント業務を実質的にSAKURAEXが引き受け、代行することで、当社の外国人スタッフが、外貨両替所に併設した商業施設のPRを行います。既存インフォメーションカウンター及び免税手続きの簡素化、外国語対応可能な人材コスト削減につながります。